

活動レポート「ラジオ講座」



親子で、電波やラジオの仕組みを学びました。

に聞いているお子さんや保護者がたくさんいらっしゃいました。

講義の後、すぐに製作に入りました。キットのダンボールを丁寧にあけると、スピーカーや基盤、抵抗など見慣れない部品がたくさん入っていて、子どもたちはみんな興味津々でした。先生のお話を聞きながらテキストをみて、ひとつずつ丁寧に組み立てていきました。無事に完成すると、視聴です。スイッチを入れ、チャンネルを合わせてラジオを聴きます。ドキドキしながらスイッチを入れ、ジーという音のあと、ちょっとずつスイッチをまわすと、音楽や人の声が！あちこちで、「わー！」「やったー！」「聞こえるね！」など、歓声があがりました。子どもも大喜びですが、保護者の皆様も、すごい！聞こえるー！と喜んでいる方が多数いらっしゃいました。

次に無事にラジオができるので、マイクを使い、自分の声をラジオで聞いてみるという実験をしました。スイッチをまわしマイクにチャンネルをあわせると、マイクで喋った声がラジオから出力してきました。あちこちから自分の声がして、これにはみんなびっくりでした。

いろいろなチャンネルを聞いたり、声を聞いたりしてしばらく楽しみました。「防災用にもなりますし、いろいろ聞いて楽しんでください、またラジオキットはダンボールの箱ですが箱を取り替えたり、デコレーションして好きなデザインにすると面白いよ」と教えていただき、ラジオ講座は終了しました。スムーズに進み、予定より早くの進行でしたが、みんな大大大満足な日でした。ニコニコしながら大事にラジオを抱えて帰る子どもたちにスタッフも嬉しくなりました。

ラジオ講座はわたしの子どもたちもずっと楽しみにしていました。ラジオが好きで、好きなラジオ番組がある息子は付きのラジオが欲しいと、また娘はずっと憧れていた自分のラジオが欲しいと参加しました。特に娘は電子工作が好きなので、ラジオの部品の抵抗などをみた途端、わたしの顔を見て、ニッコリ。大喜びで組み立ててありました。ラジオのデコレーションの話を聞き、目をキラキラさせて海のようなラジオにしたい、と帰宅しながらプランを練っておりました。後日、材料を集めて製作しました。海水はカラーセロファンとキラキラ折り紙を貼り、砂浜はクラフト紙をちぎり絵のように貼りました。蟹や海星などは樹脂粘土でつくり、スイッチには鯨と海星をつけました。貝は以前に海で拾ったものをバランスを見ながら貼りました。海の思い出の詰まった自分だけのお気に入りのオリジナルラジオができました。息子は、さっそく好きな番組の局のところに目印をつけました。これから箱を取り替えたり、イヤホンをつけたり自分好みにカスタマイズしたいそうです。ふたりとも、自分で作ったラジオが嬉しくて思い思いで楽しんでいるようです。

子どもにも、保護者にもとても楽しい講座でした。ラジオや電子工作が身近に感じた日でした。(大田佐和子)

■保護者の感想

今回、保護者として参加いたしました。子どもたちは宇宙の学校を含め、いろいろな講座に参加していて、楽しかった話や出来た作品を見させてくれるので面白いのだろうなと思っていましたが、参加してラジオを作つてみて、本当に楽しかったです。大人の私が楽しいので、子どもにはたまらなく楽しいのではないかと思いました。

1月19日(日)、松戸市青少年会館・集会室にて、待ちに待ったラジオ講座が開催されました。以前、台風でやむなく中止になった講座でしたが、要望が多く開講して頂きました。申し込みも、募集開始から次の日には定員に達してしまうほどの人気ぶりでした。そんなこともあってか、会場に入ってくる子どもたちはやる気満々で、早くやりたくてうずうずしている子が多いなあと感じました。

最初、ラジオについての講義がありました。AMとFMの電波の違いや、それぞれの特徴など、とても分かりやすく教えて頂きました。熱心にメモをとったり、うなずいたりして、真剣



海のようなマイラジオが完成！